

(資料 5)

2013 年 7 月吉日

耳鼻咽喉科、頭頸部外科 責任者様

厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業
(感覚器障害分野)

研究課題名：前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子変異解析に基づく新診断基準作成

主任研究者 喜多村 健

(東京医科歯科大学・耳鼻咽喉科学)

「前庭水管拡大症に関する二次調査」ご協力のお願い

拝啓

仲夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

先般、厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業（感覚器障害分野）「前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子変異解析に基づく新診断基準作成」につきまして、「前庭水管拡大症数の全国一次調査」に関する貴診療科のご協力をお願い申し上げましたところ、ご多忙中にもかかわらずご協力をいただき誠にありがとうございました。その後、二次調査をご依頼させていただきましたが、未だご回答をいただいております。

重ねてのお願いで誠に恐縮でございますが、過去 5 年間（2007 年 1 月 1 日～2011 年 12 月 31 日）の貴診療科における該当疾患患者につきまして、個人調査票にご記入いただき、2013 年 8 月末日までにご返送くださいますよう御願ひ申し上げます。

また、匿名化のために、貴院のカルテ番号は個人票には記載せず、同封の【二次調査個人票の調査対象者番号とカルテ番号対応表】にご記入いただき、個人票には“調査対象者番号”をご記入くださいますようお願いいたします。なお、お手数ですが、対応表は貴院にて 2014 年 3 月末日まで保管いただきますようお願い申し上げます。保管期間を過ぎましたら、シュレッダーにかけるなどお取り扱いにご注意の上、破棄いただいております。

先生方には多大なご負担をおかけすることとなり、誠に恐縮でございますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。また、行き違いでご発送ずみの際は、なにとぞご容赦いただければと存じます。なお、本調査は東京医科歯科大学の倫理委員会の承認を得て実施しています。この件に関しましてご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

敬具

東京医科歯科大学医歯学総合研究科・耳鼻咽喉科学

喜多村 健

電話：03-5803-5303

FAX：03-5803-0146

Email：kitamura.oto@tmd.ac.jp

野口 佳裕

電話：03-5308-5308

FAX：03-3813-2134

Email：noguchi.oto@tmd.ac.jp

前庭水管拡大症の診断基準

難聴を認め、CT (MRI) にて前庭水管 (内リンパ管) の

2. 中間部位のサイズが 1.5mm 以上

あるいは

2. 開口部が 2mm 以上

前庭水管拡大症は以下のような疾患 (症候群) などに認められるとされています。

- ・ 非症候群性劣性遺伝性難聴 (DFNB4)
- ・ Pendred 症候群
- ・ 鰓弓耳腎症候群 (Branchio-Oto-Renal 症候群)
- ・ 鰓弓耳症候群 (Branchio-Oto 症候群)
- ・ Waardenburg 症候群
- ・ CHARGE 症候群

二次調査個人票の対象者番号とカルテ番号対応表（前庭水管拡大症）

	調査対象者番号	カルテ番号	氏名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			

貴院にて2014年3月末日まで保管してください。

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

○ はこの研究に関連した論文・著書

1. 西尾綾子、角卓郎、山口恵、桑波田悠子、喜多村 健：メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の4例. 耳鼻臨床 104：143-50, 2011
2. ○Noguchi Y, Ito T, Nishio A, Honda K, Kitamura K：Audiovestibular findings in a branchio-oto syndrome patient with a SIX1 mutation. Acta Otolaryngol Apr;131(4):413-8, 2011 (電子出版 2011.1)
3. 山本容子, 木村百合香, 加藤智史, 杉浦むつみ, 喜多村 健：高齢者における突発性難聴の聴力予後の検討. Otology Japan 21(2)：143-8, 2011.
4. 野口佳裕, 高橋正時, 喜多村 健：埋め込み型骨導補聴器の聴覚成績と術中、術後合併症の検討. 日耳鼻会報 114：607-14, 2011
5. 福島邦博, 假谷伸, 長安吏江, 福田諭, 小林俊光, 喜多村 健, 熊川孝三, 宇佐美真一, 岩崎聡, 土井勝美, 暁清文, 東野哲也, 西崎和則：先天性外耳道閉鎖症例における埋め込み型骨導補聴器 (Bone-Anchored Hearing Aid: BAHA) の有効性に関する検討. 日耳鼻会報 114：761-7, 2011
6. Kitamura K, Nakamura Y, Noguchi Y, Takahashi M: Long term follow-up study of mastoid obliteration using bone pate in cholesteatoma. The Journal of International Advanced Otology, 7, 3, 42-3, 2011
7. 岩崎朱見, 鈴木康弘, 神山亮介, 萩野幸治, 戸叶尚史, 喜多村 健：アレルギー性鼻炎患者における気管支喘息合併率調査と抗ロイコトリエン薬プラシラカストの有効性に関する検討. Progress in Medicine 9(31)：2175-8, 2011
8. Sumi T, Watanabe I, Tsunoda A, Nishio A, Komatsuzaki A, Kitamura K: Longitudinal study of 29 patients with Meniere's disease with follow-up of 10 years or more (In commemoration of Professor Emeritus Isamu Watanabe). Acta Otolaryngol. 2011 Nov 6. [Epub], Acta Otolaryngol 132(1)：10-5, 2012
9. Takahashi N, Tsunoda A, Shirakura S, Kitamura K.：Anatomical feature of the middle cranial fossa in fetal periods: possible etiology of superior canal dehiscence syndrome. Acta Otolaryngol. 2011 Dec 27. [Epub]
10. 五十嵐隆 総編集, 喜多村 健 専門編集：小児科臨床ピクシス27 耳・鼻・のど・いびき：中山書店, 2011
11. 喜多村 健：序. 五十嵐隆, 喜多村健 (編) 小児科臨床ピクシス27 耳・鼻・のど・いびき：中山書店, 2011
12. 倉田奈都子, 喜多村 健：中耳炎の合併症. 五十嵐隆, 喜多村健 (編) 小児科臨床ピクシス27 耳・鼻・のど・いびき：中山書店, 54-6, 2011
13. 喜多村 健：3. 感染症. 急性中耳炎. 五十嵐隆 (編) 小児科診療ガイドライン-最新の診療指針-第2版：総合医学社, 120-24, 2011
14. 本田圭司, 喜多村 健：めまい. 後藤英司, 奈良信雄, 藤代健太郎 (編) 症候からたどる鑑別診断ロジカルシンキング：MEDICAL VIEW, 92-8, 2011.
15. 西尾綾子, 喜多村 健：27 めまい. 井上智子/佐藤千史 (編) 緊急度・重症度からみた症状別看護課程+病態関連図：医学書院, 445-60, 2011
16. 喜多村 健：めまい・難聴治療のup-to-date. 東京都医師会雑誌 64(2)：149-55, 2011

17. 喜多村 健 : 巻頭言. *Otology Japan* 21(1), 2011
18. 喜多村 健 : 報告 The 2nd East Asian Symposium on Otology参加報告. *Otology Japan* 21(1), 93-94, 2011
19. 野口佳裕, 喜多村 健 : 人工中耳の進歩 : BAHA. *耳鼻咽喉科・頭頸部外科外科* 83(6), 377-83, 2011
20. 有泉陽介, 喜多村 健 : VI章 耳鼻咽喉の異常 1. 耳鳴. *総合臨床* 60, 永井書店, 999-1003, 2011 (5月増刊)
21. 喜多村健 : めまい、難聴診療のup-to-date. *ラウンドミラー* 29: 6-8, 2011.
22. 山田雅人, 喜多村 健 : 急性中耳炎. 特集・耳鼻咽喉科領域のウイルス・細菌・真菌感染症治療戦略. *ENTONI* 131:13-9, 2011
23. 喜多村 健 : 小児急性中耳炎診療ガイドライン2009年版. PTM治療マニュアル. *ガイドラインダイジェスト* 36, 2011
24. 喜多村 健 : めまい、難聴診療のup-to date. 特別講演. *福島県耳鼻咽喉科会誌*. 第22号, 41-3, 2011
25. 喜多村 健 : 臨床部門 研究とそのトピックス. *脳統合機能研究センター 2010年度報告書*:74-82, 2011
26. 堤 剛, 喜多村 健 : 第IV章 感覚機能検査 1. 平衡機能検査 3. その他の検査 (聴覚・味覚・嗅覚) *臨床検査学講座 第2版 生理機能検査学*: 医歯薬出版株式会社, 295-319, 338-352, 2009, 2010, 2011
27. 喜多村 健 : 言語聴覚士のための聴覚障害学 第1版第8刷 喜多村 健 (編) 医歯薬出版, 2012
28. Kitamura K: Epidemiology of Otitis Media with Effusion (OME) in Japan. *Current Opinion on Otitis Media with Effusion*. Koonja publishing Inc.: 151-8, 2012
29. 喜多村 健 : 特集 めまい診療の最前線 めまい相談医. *日本医師会雑誌*. 140:10, 2110, 2012
30. 喜多村 健 : 巻頭言. *Otology Japan* 22(1), 2012
31. 喜多村 健 : 一般社団法人日本耳科学会発足について. *Otology Japan* 22(1), 2012
32. 倉田奈都子, 川島慶之, 古宇田寛子, 角卓郎, 得丸貴夫, 岸根有美, 喜多村 健 : 鼻性NK/T細胞リンパ腫の7例. *耳鼻臨床* 105 : 423-9, 2012
33. 鎌田知子, 畑中章生, 田崎彰久, 本田圭司, 角田篤信, 喜多村 健 : 茨城県で発見されたコリネバクテリウム・ウルセランスの1症例. *日耳鼻会報* 115 : 682-6, 2012
34. 野口佳裕, 高橋正時, 靱山直子, 杉本太郎, 喜多村 健 : 正円窓小窩, 内耳道への進展を認めた迷路内神経鞘腫の1例. *日耳鼻会報* 115 : 687-92, 2012
35. 岡田隆平, 角田篤信, 靱山直子, 岸根有美, 喜多村 健, 岸本誠司, 秋田恵一 : Thiel 法による解剖体固定法とその有用性についての検討. *日耳鼻会報* 115 : 791-4, 2012
36. Kato T, Nishigaki Y, Noguchi Y, Fuku N, Ito T, Mikami E, Kitamura K and Tanaka M: Extended screening for major mitochondrial DNA point mutations in patients with hereditary hearing loss. *J Hum Genet*, (13 September 2012) | doi:10.1038/jhg.2012.109 [OnlineP]
37. Kato T, Fuku N, Noguchi Y, Murakami H, Miyachi M, Kimura Y, Tanaka M and Kitamura K: Mitochondrial DNA haplogroup associated with hereditary hearing loss in a Japanese population. *Acta Otolaryngol*. 132: 1178-82, 2012
38. 萩野幸治, 石原明子, 角卓郎, 畑中章生, 和佐野有紀, 戸叶尚史, 喜多村 健 : 急性副鼻腔炎の成人例に対するCDTR-PI の高用量投与治療 (200mg/回×3 回/日) の有用性の検討. *耳鼻臨床* 105 : 999-1009, 2012
39. 清川佑介, 喜多村 健 : 第17章耳鼻咽喉科疾患 難聴. 病期・病態・重症度からみた疾患別看護経

過+病態関連図 第2版 医学書院, 1854-73, 2012

40. 桑波田悠子, 喜多村 健: 第17章耳鼻咽喉科疾患 中耳炎. 病期・病態・重症度からみた疾患別看護経過+病態関連図 第2版 医学書院, 1874-91, 2012
41. 本田圭司, 喜多村 健: 外傷に対する処置 鼻出血に対する止血法. 臨床研修 手技・処置ベッドサイド手帖. メジカルビュー社, 60-3, 2012
42. 清川佑介, 喜多村 健: IIIここだけは“知っておきたい”めまい薬物治療 3 前庭神経炎の薬物治療. “知りたい”めまい“知っておきたい”めまい薬物治療. 全日本病院出版会, 95-100, 2012
43. 喜多村 健: 第7章: 聴覚・平衡機能系疾患の医療ニーズ 第3節特発性両側性感音難聴. 稀少疾患/難病の診断・治療と製品開発. 技術情報協会, 1027-30, 2012
44. 喜多村 健: 特集 めまい診療の最前線 めまい相談医. 日本医師会雑誌. 140:10, 2110, 2012
45. 喜多村 健: 特集 急性感音難聴の最新治療戦略 遺伝子からみた急性感音難聴. JOHNS 28(5): 729-32, 2012
46. 喜多村 健: 特集 診療ガイドラインのエッセンスとその活用法 急性中耳炎. 耳喉頭頸 84(7): 439-45, 2012
47. 喜多村 健: 学会案内 The First Asian Otology Meeting & The 3rd East Asian Symposium on Otology. 日耳鼻東京都地方部会会報 67(5): 40-1, 2012
48. 角田篤信, 伊藤卓, 喜多村 健, 岸本誠司: 当科における耳科手術指導: 画像所見と解剖所見の有機的統合. Otology Japan 22(3), 209-13, 2012
49. 喜多村 健, 野口佳裕: 特集①耳鼻咽喉科疾患と遺伝子. めまい・平衡障害と遺伝子. 耳鼻頭頸 84(12): 893-9, 2012
50. 喜多村 健: 診療ガイドラインに基づいた急性中耳炎、急性副鼻腔炎診断. 都耳鼻会報 139(11): 14-20, 2012
51. 糸山直子, 中村裕之, 沼沢祥行, 戸叶尚史, 喜多村 健: 滲出性中耳炎が先行した細菌性髄膜炎の一例. 茨城県農村医学会雑誌 25: 13-17, 2012
52. ○野口佳裕, 伊藤卓, 川島慶之, 西尾綾子, 本田圭司, 喜多村 健: 前庭水管拡大症を伴う SLC26A4, ATP6V1B1, SIX1 変異例の聴平衡所見の検討. Equilibrium Res 72(2): 97-106, 2013
53. Kimura Y, Kubo S, Koda H, Shigemoto K, Sawabe M, Kitamura K: RNA analysis of inner ear cells from formalin fixed paraffin embedded (FFPE) archival human temporal bone section using laser microdissection -A technical report. Hear res 302: 26-31, 2013
54. 立石優美子, 高橋正時, 喜多村 健: Bezold 膿瘍を形成した隠蔽性乳様突起炎の1例. Otology Japan 23(3): 210-5, 2013.
55. 本田圭司, 野口佳裕, 加藤智史, 奥野秀次, 喜多村 健: 網羅的解析により診断された耳小骨奇形を合併したミトコンドリア 3243 変異例. Otology Japan 23(3): 227-32, 2013.
56. 糸山直子, 高橋正時, 野口佳裕, 喜多村 健: 熱湯による外傷性鼓膜穿孔例. 耳鼻臨床 106:1077-82, 2013
57. Nishio A, Noguchi Y, Sato T, Naruse T, Kimura A, Takagi A, Kitamura K: A *DFNA5* Mutation Identified in Japanese Families with Autosomal Dominant Hereditary Hearing Loss. Ann Hum Genet (in press)
58. 吉本亮一, 野口佳裕, 岩崎朱見, 喜多村 健: 埋込型骨導補聴器術後皮膚合併症に対する再手術例の検討. Otology Japan 23(5): 834-40, 2013.

59. Honda K, Noguchi Y, Kawashima Y, Takahashi M, Nishio A, Kitamura K: Ex Vivo Visualization of the Mouse Otoconial Layer Compared to Micro-computed Tomography. *Otol Neurotol.* (accepted)
60. 角田篤信, 喜多村 健 : 感覚系の検査 聴力検査と平衡機能検査. 臨床検査技師 イエロー・ノート 臨床編 2nd edition 芝 紀代子 (編) : メジカルビュー社, pp538-543, 2013
61. 喜多村 健 : 突発性難聴 (監修). *ドクターズガイド*: 時事通信社, 177, 2013
62. 喜多村 健 : 突発性難聴. *ドクターズガイド*: 時事通信社, 178, 2013
63. 喜多村 健 : ” The First Asian Otology Meeting & The 3rd East Asian Symposium on Otology” を開催して. *日耳鼻東京都地方部会会報* 68(12) : 47-8, 2012
64. 喜多村 健 : 報告. ” The First Asian Otology Meeting & The 3rd East Asian Symposium on Otology” を開催して. *Otology Japan* 22(5), 930-1, 2012
65. 喜多村 健 : 第71回日本めまい平衡医学会. *日耳鼻* 116(2) : 123-4, 2012
66. 喜多村 健 : 第15群 聴覚障害3. 第57回日本聴覚医学会総括報告. *Audiology Japan* 56(1) : 18-9, 2013
67. 喜多村 健 : 学会報告 第71回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会. *日本耳鼻咽喉科学会東京都地方部会会報* 69 (5) : 46, 2013
68. 喜多村 健 : 10年以上経過観察したメニエール病症例の縦断的研究. *東京都医師会雑誌* 66(5) : 7-11, 2013
69. 喜多村 健 : めまい診療のpitfall. 第30回日本めまい平衡医学会医師講習会. 64-71, 2013
70. 喜多村 健 : 臨床セミナー (1) 司会のことば. *日耳鼻会報*116 (4) : 342, 2013
71. 喜多村 健 : 外リンパ瘻の臨床 : *日耳鼻会報*116 (4) : 342-344, 2013
72. 川島慶之, 喜多村 健 : 内耳有毛細胞の機械的シグナル伝達に必要な不可欠な遺伝子TMC1, およびTMC2. *Otology Japan* 23(2), 137-143, 2013
73. 喜多村 健 : 神経耳科学的検査. *神経・精神疾患診療マニュアル*. *日本医師会雑誌* 142 (2) : S70-71, 2013
74. 喜多村 健 : 特集にあたって. 特集 めまい : 診断と治療の責任編集. *Pharma Medica* 31 (10) : 7, 2013
75. 喜多村 健 : 初診時に前庭神経炎と診断したWallenberg症候群. *耳鼻咽喉科てこずった症例のブレイクスルー*. 本庄巖 (編) 中山書店, 90-91, 2013
76. 喜多村 健 : 臨床部門 研究とそのトピックス. *脳統合機能研究センター 2012年度報告書*:96-110, 2013
77. 喜多村 健 : 突発性難聴治療のEBM. *日耳鼻会報*117 (1) : 62-63, 2014
78. Basta D, Rossi-Izquierdo M, Soto-Varela A, Greters ME, Bittar RS, Steinhagen-Thiessen E, Eckardt R, Harada T, Goto F, Ogawa K, Ernst A. : Efficacy of a Vibrotactile Neurofeedback Training in Stance and Gait Conditions for the Treatment of Balance Deficits: A Double-Blind, Placebo-Controlled Multicenter Study. *Otol Neurotol.*;32(9):1492-1499. 2011
79. Goto F, Tsutsumi T, Nakamura I, Ogawa K. : Neurally mediated syncope presenting with paroxysmal positional vertigo and tinnitus. *Auris Nasus Larynx*. 2011 Nov 5. [Epub ahead of print]
80. Sakamoto K, Imanishi Y, Tomita T, Shimoda M, Kameyama K, Shibata K, Sakai N, Ozawa H, Shigetomi S, Fujii R, Fujii M, Ogawa K. : Overexpression of SIP1 and Downregulation of E-cadherin Predict Delayed Neck Metastasis in Stage I/II Oral Tongue Squamous Cell Carcinoma After Partial Glossectomy. *Ann Surg Oncol*. 2011 Sep 13. [Epub ahead of print]

81. Kanzaki S, Saito H, Mori T, Shimasaki N, Mukai M, Ogawa K. : Thirteen-month-old boy with malignant lymphoma having symptoms mimicking acute otitis media and mastoiditis with facial palsy. *ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec.* 73(5):266-70. 2011. Epub 2011 Aug 11.
82. Kanzaki S, Saito H, Inoue Y, Ogawa K. : A new device for delivering drugs into the inner ear: Otoendoscope with microcatheter. *Auris Nasus Larynx.* 2011. [Epub ahead of print]
83. Oishi N, Shinden S, Kanzaki S, Saito H, Inoue Y, Ogawa K. : Influence of depressive symptoms, state anxiety, and pure-tone thresholds on the tinnitus handicap inventory in Japan. *Int J Audiol.* 50(7):491-5. 2011. Epub 2011 Apr 15.
84. Kanzaki S, Takada Y, Niida S, Takeda Y, Udagawa N, Ogawa K., Nango N, Momose A, Matsuo K. : Impaired vibration of auditory ossicles in osteopetrotic mice. *Am J Pathol.* 178(3):1270-8. 2011
85. Hosoya M, Fujioka M, Matsuda S, Ohba H, Shibata S, Nakagawa F, Watabe T, Wakabayashi K, Saga Y, Ogawa K., Okano HJ, Okano H. : Expression and function of Sox21 during mouse cochlea development. *Neurochem Res.* 36(7):1261-9. 2011. Epub 2011 Feb 3.
86. Oishi N, Inoue Y, Hori A, Yakushimaru R, Kohno N, Ogawa K. : Pure tone auditory thresholds can change according to duration of interrupted tones in patients with psychogenic hearing loss. *Acta Otolaryngol.* 131(6):628-32. 2011. Epub 2011 Jan 24.
87. Cui Y, Sun GW, Yamashita D, Kanzaki S, Matsunaga T, Fujii M, Kaga K, Ogawa K. : Acoustic overstimulation-induced apoptosis in fibrocytes of the cochlear spiral limbus of mice. *Eur Arch Otorhinolaryngol.* 268(7):973-8. 2011. Epub 2011 Jan 19.
88. 中井貴美子:, 齊藤秀行 , 五島史行, 小川郁: メニエール病症例に対する自律性修正法の有用性. *日本心療内科学会誌* 15 (2) :99-102. 2011
89. Watabe T, Matsunaga T, Namba K, Mutai H, Inoue Y, Ogawa K. Moderate hearing loss associated with a novel non-truncating mutation located near the N-terminus of the pore helix. *Biochem Biophys Res Commun* 2013 Feb 9. [Epub ahead of print].
90. Kanzaki S, Fujioka M, Yasuda A, Shibata S, Nakamura M, Okano HJ, Ogawa K., Okano H. Novel in vivo imaging analysis of an inner ear drug delivery system in mice: comparison of inner ear drug concentrations over time after transtympanic and systemic injections. *PLoS One* 2012; 7(12): e48480.
91. Goto F, Morimoto N, Taiji H, Tsutumi T, Ogawa K. Treating pediatric psychogenic dizziness with a Japanese herbal medicine. *Explore (NY).* 2013; 9(1): 41-3.
92. Wasano K, Kanzaki S, Sakashita T, Takahashi M, Inoue Y, Saito H, Fujioka M, Watabe T, Watanabe R, Sunami K, Kato S, Kabaya K, Shinden S, Ogawa K. A psychometric validation of the Japanese versions of new questionnaires on tinnitus (THI-12, TRS, TRSw, TSS, and TSSw). *Acta Otolaryngol.* 2013 Jan 15. [Epub ahead of print]
93. Kanzaki S, Suzuki T, Suzuki S, Suzuki N, Ogawa K. Sudden Onset Hearing Loss and Vertigo Just Before Posterior Inferior Cerebellar Artery Infarction (Lateral Medulla Syndrome). *Otol Neurotol.* 2012 Sep 19. [Epub ahead of print]
94. Masuda M, Kanzaki S, Minami S, Kikuchi J, Kanzaki J, Sato H, Ogawa K. Correlations of inflammatory biomarkers with the onset and prognosis of idiopathic sudden sensorineural hearing loss. *Otol Neurotol.* 2012; 33(7):1142-50
95. Oishi N, Saito K, Isogai Y, Yabe H, Inagaki K, Naganishi H, Kimura H, Ogawa K. Endoscopic investigation and evaluation of anxiety for the management of globus sensation. *Auris Nasus Larynx.* 2012 Jul 24. [Epub ahead of print]

96. Saito K, Toda M, Sano K, Tomita T, Ogawa K, Yoshida K. Application of the endoscopic transsphenoidal approach to true type transsellar transsphenoidal meningoencephalocele in an adult: a case report and literature review. *Acta Neurochir (Wien)*. 2012;154(8):1511-5
97. Saito K, Toda M, Tomita T, Ogawa K, Yoshida K. Surgical results of an endoscopic endonasal approach for clival chordomas. *Acta Neurochir (Wien)*. 2012;154(5):879-86
98. Oishi N, Shinden S, Kanzaki S, Saito H, Inoue Y, Ogawa K. Effects of tinnitus retraining therapy involving monaural noise generators. *Eur Arch Otorhinolaryngol*. 2012 Feb 14. [Epub ahead of print]
99. Sakamoto K, Imanishi Y, Tomita T, Shimoda M, Kameyama K, Shibata K, Sakai N, Ozawa H, Shigetomi S, Fujii R, Fujii M, Ogawa K. Overexpression of SIP1 and downregulation of E-cadherin predict delayed neck metastasis in stage I/II oral tongue squamous cell carcinoma after partial glossectomy. *Ann Surg Oncol*. 2012;19(2):612-9
100. Okamoto Y, Mutai H, Nakano A, Arimoto Y, Sugiuchi T, Masuda S, Morimoto N, Sakamoto H, Ogahara N, Takagi A, Taiji H, Kaga K, Ogawa K, Matsunaga T. : Subgroups of enlarged vestibular aqueduct in relation to SLC26A4 mutations and hearing loss. *Laryngoscope*. 2013 Sep 18. doi: 10.1002/lary.24368. [Epub ahead of print]
101. Mizutani K, Michikawa T, Saito H, Okamoto Y, Enomoto C, Takebayashi T, Ogawa K, Nishiwaki Y. : Age-related hearing loss and the factors determining continued usage of hearing aids among elderly community-dwelling residents. *PLoS One*. 2013 Sep 23;8(9):e73622.
102. Sano H, Okamoto M, Ohhashi K, Ino T, Iwasaki S, Ogawa K. : Self-reported symptoms in patients with idiopathic sudden sensorineural hearing loss. *Otol Neurotol*. 2013 Oct;34(8):1405-10.
103. Takiguchi Y, Sun GW, Ogawa K, Matsunaga T. : Long-lasting changes in the cochlear K⁺ recycling structures after acute energy failure. *Neurosci Res*. 2013; 77(1-2):33-41.
104. Watabe T, Matsunaga T, Namba K, Mutai H, Inoue Y, Ogawa K. : Moderate hearing loss associated with a novel KCNQ4 non-truncating mutation located near the N-terminus of the pore helix. *Biochem Biophys Res Commun*. 2013; 432(3):475-9.
105. Kato M, Teranishi M, Katayama N, Sone M, Naganawa S, Nakashima T. : Association between endolymphatic hydrops as revealed by magnetic resonance imaging and caloric response. *Otol Neurotol*. 32(9):1480-5. 2011
106. Nakashima T, Sone M, Teranishi M, Yoshida T, Terasaki H, Kondo M, Yasuma T, Wakabayashi T, Nagatani T, Naganawa S. : A perspective from magnetic resonance imaging findings of the inner ear: Relationships among cerebrospinal, ocular and inner ear fluids. *Auris Nasus Larynx*. 2011. [Epub ahead of print]
107. Uchida Y, Sugiura S, Nakashima T, Ando F, Shimokata H. : Contribution of 1425G/A polymorphism in protein kinase C- ϵ (PRKCH) gene and brain white matter lesions to the risk of sudden sensorineural hearing loss in a Japanese nested case-control study. *Neurogenet*. 25(3):82-7. 2011
108. Suzuki H, Teranishi M, Sone M, Yamazaki M, Naganawa S, Nakashima T. : Contrast enhancement of the inner ear after intravenous administration of a standard or double dose of gadolinium contrast agents. *Acta Otolaryngol*. 131(10):1025-31. 2011
109. Furuta T, Sone M, Fujimoto Y, Yagi S, Sugiura M, Kamei Y, Fujii H, Nakashima T. : Free flap blood flow evaluated using two-dimensional laser speckle flowgraphy. *Int J Otolaryngol*. :297251. 2011
110. Iwata T, Yoshida T, Teranishi M, Murata Y, Hayashi Y, Kanou Y, Griffith AJ, Nakashima T. : Influence of dietary iodine deficiency on the thyroid gland in Slc26a4-null mutant mice.

Thyroid Res. Jun 20;4(1):10. 2011

111. Uchida Y, Sugiura S, Ando F, Nakashima T, Shimokata H. : Molecular genetic epidemiology of age-related hearing impairment. *Auris Nasus Larynx.* ;38(6):657-65. 2011
112. Tagaya M, Yamazaki M, Teranishi M, Naganawa S, Yoshida T, Otake H, Nakata S, Sone M, Nakashima T. : Endolymphatic hydrops and blood-labyrinth barrier in Ménière's disease.. *Acta Otolaryngol.* ;131(5):474-9. 2011
113. Naganawa S, Yamazaki M, Kawai H, Sone M, Nakashima T. : Contrast enhancement of the anterior eye segment and subarachnoid space: detection in the normal state by heavily T2-weighted 3D FLAIR. *Magn Reson Med Sci.* ;10(3):193-9. 2011
114. Naganawa S, Sone M, Yamazaki M, Kawai H, Nakashima T. : Visualization of endolymphatic hydrops after intratympanic injection of Gd-DTPA: comparison of 2D and 3D real inversion recovery imaging. *Magn Reson Med Sci.* ;10(2):101-6. 2011
115. Ida-Eto M, Ohgami N, Iida M, Yajima I, Kumasaka MY, Takaiwa K, Kimitsuki T, Sone M, Nakashima T, Tsuzuki T, Komune S, Yanagisawa M, Kato M. : Partial requirement of endothelin receptor B in spiral ganglion neurons for postnatal development of hearing. *J Biol Chem.* 26;286(34):29621-6. 2011
116. Yoshida T, Sone M, Naganawa S, Nakashima T. : Accuracy of 3.0 Tesla magnetic resonance imaging in the diagnosis of intracochlear schwannoma. *Auris Nasus Larynx.* ;38(4):551-4. 2011
117. Naganawa S, Kawai H, Sone M, Nakashima T, Ikeda M. : Endolymphatic hydrops in patients with vestibular schwannoma: visualization by non-contrast-enhanced 3D FLAIR. *Neuroradiology.* 53(12):1009-15. 2011
118. Sone M, Kato T, Suzuki Y, Arao H, Sugiyama K, Ishida K, Izawa K, Takasu A, Nakashima T. : Relevance and characteristics of gastroesophageal reflux in adult patients with otitis media with effusion. *Auris Nasus Larynx.* ;38(2):203-7. 2011
119. Ohgami N, Ida-Eto M, Sakashita N, Sone M, Nakashima T, Tabuchi K, Hoshino T, Shimada A, Tsuzuki T, Yamamoto M, Sobue G, Jijiwa M, Asai N, Hara A, Takahashi M, Kato M. : Partial impairment of c-Ret at tyrosine 1062 accelerates age-related hearing loss in mice. *Neurobiol Aging.* [Epub ahead of print] 2011
120. Kato M, Sugiura M, Shimono M, Yoshida T, Otake H, Kato K, Teranishi M, Sone M, Yamazaki M, Nakashima T. Endolymphatic hydrops revealed by magnetic resonance imaging in patients with atypical Meniere's disease. *Acta Otolaryngol* 2012 [Epub ahead of print]
121. Kato K, Otake H, Tagaya M, Takahashi Y, Ito Y, Hama A, Muramatsu H, Kojima S, Naganawa S, Nakashima T. Progressive hearing loss following acquired cytomegalovirus infection in an immunocompromised child. *Am J Otolaryngol.* 2012 [Epub ahead of print]
122. Naganawa S, Yamazaki M, Kawai H, Bokura K, Sone M, Nakashima T. Imaging of Meniere's Disease after Intravenous administration of single-dose gadodiamide: Utility of subtraction images with different inversion time. *Magn Reson Med Sci.* 2012;11(3):213-9.
123. Sone M, Kato T, Arao H, Izawa K, Suzuki Y, Ishida K, Nakashima T. Exploratory findings of audiometry in adult patients with otitis media with high pepsinogen concentrations: A preliminary study. *Acta Otolaryngol.* 2012. [Epub ahead of print]
124. Teranishi M, Uchida Y, Nishio N, Kato K, Otake H, Yoshida T, Suzuki H, Sone M, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Nakashima T. Polymorphisms in Genes Involved in Oxidative Stress Response in Patients with Sudden Sensorineural Hearing Loss and Meniere's Disease in a Japanese Population. *DNA Cell Biol.* 2012;31(10):1555-62.

125. Yamazaki M, Naganawa S, Kawai H, Sone M, Nakashima T. Gadolinium distribution in cochlear perilymph: differences between intratympanic and intravenous gadolinium injection. *Neuroradiology*. 2012;54(10):1161-9.
126. Kato K, Yoshida T, Teranishi M, Sano R, Otake H, Sone M, Naganawa S, Nakashima T. Peak width in multifrequency tympanometry and endolymphatic hydrops revealed by magnetic resonance imaging. *Otol Neurotol*. 2012;33(6):912-5.
127. Naganawa S, Yamazaki M, Kawai H, Bokura K, Sone M, Nakashima T. Imaging of endolymphatic and perilymphatic fluid after intravenous administration of single-dose gadodiamide. *Magn Reson Med Sci*. 2012;11(2):145-50.
128. Naganawa S, Yamazaki M, Kawai H, Bokura K, Sone M, Nakashima T. Visualization of endolymphatic hydrops in Meniere's disease after single-dose intravenous gadolinium-based contrast medium: timing of optimal enhancement. *Magn Reson Med Sci*. 2012;11(1):43-51.
129. Nishio N, Teranishi M, Uchida Y, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Sone M, Otake H, Kato K, Yoshida T, Tagaya M, Hibi T, Nakashima T. Contribution of complement factor H Y402H polymorphism to sudden sensorineural hearing loss risk and possible interaction with diabetes. *Gene*. 2012;499(1):226-30.
130. Hiramatsu M, Teranishi M, Uchida Y, Nishio N, Suzuki H, Kato K, Otake H, Yoshida T, Tagaya M, Suzuki H, Sone M, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Nakashima T. Polymorphisms in Genes Involved in Inflammatory Pathways in Patients with Sudden Sensorineural Hearing Loss. *J Neurogenet*. 2012. [Epub ahead of print]
131. Sone M, Yoshida T, Naganawa S, Otake H, Kato K, Sano R, Teranishi M, Nakashima T. Comparison of computed tomography and magnetic resonance imaging for evaluation of cholesteatoma with labyrinthine fistulae. *Laryngoscope*. 2012;122(5):1121-5.
132. Sone M, Katayama N, Kato T, Izawa K, Wada M, Hamajima N, Nakashima T. Prevalence of laryngopharyngeal reflux symptoms: comparison between health checkup examinees and patients with otitis media. *Otolaryngol Head Neck Surg*. 2012;146(4):562-6.
133. Sone M, Katayama N, Naganawa S, Yoshida T, Teranishi M, Nakashima T. Audiological signs in pediatric cases with dehiscence of the bony labyrinth caused by a high jugular bulb. *Int J Pediatr Otorhinolaryngol*. 2012;76(3):447-51.
134. Nakashima T, Hattori T, Sone M, Asahi K, Matsuda N, Teranishi M, Yoshida T, Kato K, Sato E. Cochlear blood flow and speech perception ability in cochlear implant users. *Otol Neurotol*. 2012;33(2):165-8.
135. Sano R, Teranishi M, Yamazaki M, Isoda H, Naganawa S, Sone M, Hiramatsu M, Yoshida T, Suzuki H, Nakashima T. Contrast enhancement of the inner ear in magnetic resonance images taken at 10 minutes or 4 hours after intravenous gadolinium injection. *Acta Otolaryngol*. 2012;132(3):241-6.
136. Yamazaki M, Naganawa S, Tagaya M, Kawai H, Ikeda M, Sone M, Teranishi M, Suzuki H, Nakashima T. Comparison of contrast effect on the cochlear perilymph after intratympanic and intravenous gadolinium injection. *AJNR Am J Neuroradiol*. 2012;33(4):773-8.
137. Nakashima T, Sone M, Teranishi M, Yoshida T, Terasaki H, Kondo M, Yasuma T, Wakabayashi T, Nagatani T, Naganawa S. A perspective from magnetic resonance imaging findings of the inner

- ear: Relationships among cerebrospinal, ocular and inner ear fluids. *Auris Nasus Larynx*. 2012;39(4):345-55.
138. 内田育恵、杉浦彩子、植田広海、中島 務：中耳機能 10 年間の推移 老化に関する長期縦断疫学研究より. *Otology Japan* 2012; 22 (3): 223-230.
 139. 杉浦彩子、内田育恵、中島 務、西田裕紀子、丹下智香子、安藤富士子、下方浩史：高齢者の耳垢の頻度と認知機能、聴力との関連. *日本老年医学会雑誌* 2012; 49(3): 325-329.
 140. 内田育恵、杉浦彩子、岸本真由子、植田広海、寺西正明、中島 務：中高年糖尿病教育入院患者における糖尿病関連要因の聴力への影響. *Audiology Japan* 2012; 55(3): 182-189.
 141. 内田育恵、杉浦彩子、中島 務、安藤富士子、下方浩史：全国高齢難聴者数推計と 10 年後の年齢別難聴発症率 老化に関する長期縦断疫学研究(NILS-LSA)より. *日本老年医学会雑誌* 2012; 49(2): 222-227.
 142. 中島 務、寺西正明：【急性感音難聴の最新治療戦略】 急性感音難聴の疫学. *JOHNS* 2012; 28(5): 725-728.
 143. 加藤 健、中島 務：【知っておきたい耳鼻咽喉科領域における症候群】 内分泌障害を伴うもの. *ENTONI* 2012; 138 号: 35-41.
 144. 長縄慎二、中島 務：[めまい-Vertigo, Dizziness or Else?] 画像検査. *Clinical Neuroscience* 2012; 30 (1): 61-63.
 145. Naganawa S, Suzuki K, Nakamichi R, Bokura K, Yoshida T, Sone M, Homann G, Nakashima T, Ikeda M.: Semi-quantification of Endolymphatic Size on MR Imaging after Intravenous Injection of Single-dose Gadodiamide: Comparison between Two Types of Processing Strategies. *Magn Reson Med Sci*. 2013 Dec 25;12(4):261-9. Epub 2013 Oct 29.
 146. Nakamichi R, Yamazaki M, Ikeda M, Isoda H, Kawai H, Sone M, Nakashima T, Naganawa S.: Establishing Normal Diameter Range of the Cochlear and Facial Nerves with 3D-CISS at 3T. *Magn Reson Med Sci*. 2013 Dec 25;12(4):241-7. Epub 2013 Oct 29.
 147. Sone M, Yoshida T, Otake H, Kato K, Teranishi M, Naganawa S, Nakashima T.: Evaluation of vascular activity in otosclerosis by laser Doppler flowmetry: comparison with computed tomographic densitometry. *Otol Neurotol*. 2013 Dec;34(9):1559-63.
 148. Sugimoto S, Teranishi M, Fukunaga Y, Yoshida T, Sugiura S, Uchida Y, Oiso Y, Nakashima T.: Contributing factors to hearing of diabetic patients in an in-hospital education program. *Acta Otolaryngol*. 2013 Nov;133(11):1165-72.
 149. Shimono M, Teranishi M, Yoshida T, Kato M, Sano R, Otake H, Kato K, Sone M, Ohmiya N, Naganawa S, Nakashima T.: Endolymphatic hydrops revealed by magnetic resonance imaging in patients with acute low-tone sensorineural hearing loss. *Otol Neurotol*. 2013 Sep;34(7):1241-6.
 150. Naganawa S, Yamazaki M, Kawai H, Bokura K, Sone M, Nakashima T.: Estimation of perilymph enhancement after intratympanic administration of Gd-DTPA by fast T₁-mapping with a dual flip angle 3D spoiled gradient echo sequence. *Magn Reson Med Sci*. 2013;12(3):223-8. Epub 2013 Jul 12.
 151. Sone M, Kato T, Nakashima T.: Current concepts of otitis media in adults as a reflux-related disease. *Otol Neurotol*. 2013 Aug;34(6):1013-7.
 152. Naganawa S, Yamazaki M, Kawai H, Bokura K, Sone M, Nakashima T.: Three-dimensional visualization of endolymphatic hydrops after intravenous administration of single-dose gadodiamide. *Magn Reson Med Sci*. 2013;12(2):147-51. Epub 2013 May 10.
 153. Naganawa S, Yamazaki M, Kawai H, Bokura K, Sone M, Nakashima T.: Visualization of

endolymphatic hydrops in Ménière's disease after intravenous administration of single-dose gadodiamide at 1.5T. *Magn Reson Med Sci.* 2013;12(2):137-9.

154. Huang Y, Teranishi M, Uchida Y, Nishio N, Kato K, Otake H, Yoshida T, Sone M, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Nakashima T.: Association between polymorphisms in genes encoding methylenetetrahydrofolate reductase and the risk of Ménière's disease. *J Neurogenet.* 2013 Jun;27(1-2):5-10.
155. Naganawa S, Yamazaki M, Kawai H, Bokura K, Sone M, Nakashima T.: Imaging of Ménière's disease after intravenous administration of single-dose gadodiamide: utility of multiplication of MR cisternography and HYDROPS image. *Magn Reson Med Sci.* 2013 Mar 25;12(1):63-8. Epub 2013 Mar 11.
156. Yoshida T, Teranishi M, Kato M, Otake H, Kato K, Sone M, Yamazaki M, Naganawa S, Nakashima T.: Endolymphatic hydrops in patients with tinnitus as the major symptom. *Eur Arch Otorhinolaryngol.* 2013 Nov;270(12):3043-8.
157. Nishio N, Teranishi M, Uchida Y, Sugiura S, Ando F, Shimokata H, Sone M, Otake H, Kato K, Yoshida T, Tagaya M, Hibi T, Nakashima T.: Polymorphisms in genes encoding aquaporins 4 and 5 and estrogen receptor α in patients with Ménière's disease and sudden sensorineural hearing loss. *Life Sci.* 2013 Mar 21;92(10):541-6.
158. Iida T, Teranishi M, Yoshida T, Otake H, Sone M, Kato M, Shimono M, Yamazaki M, Naganawa S, Nakashima T.: Magnetic resonance imaging of the inner ear after both intratympanic and intravenous gadolinium injections. *Acta Otolaryngol.* 2013 May;133(5):434-8.
159. Kato M, Sugiura M, Shimono M, Yoshida T, Otake H, Kato K, Teranishi M, Sone M, Yamazaki M, Naganawa S, Nakashima T.: Endolymphatic hydrops revealed by magnetic resonance imaging in patients with atypical Meniere's disease. *Acta Otolaryngol.* 2013 Feb;133(2):123-9.
160. 中島 務, 安江 穂: 【耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域疾患の最新疫学】 難聴・耳鳴の疫学. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科(0914-3491)85 巻 13 号 Page1038-1044(2013. 12)
161. 杉浦 彩子, 内田 育恵, 寺西 正明, 中島 務: 働き盛りにおこる難聴 突発性難聴と遺伝子多型. 日本職業・災害医学会誌(1345-2592)61 巻 6 号 Page351-355(2013. 11)
162. 加藤 健, 曾根 三千彦, 寺西 正明, 吉田 忠雄, 大竹 宏直, 中島 務, 長縄 慎二: 難聴を合併した MPO-ANCA 関連血管炎患者の 3D-FLAIR MR 画像評価. 日本耳鼻咽喉科学会会報(0030-6622)116 巻 11 号 Page1192-1199(2013. 11)
163. 吉田 忠雄, 中島 務: 内リンパ水腫 メニエール病とその周辺疾患. 耳鼻咽喉科臨床(0032-6313)106 巻 10 号 Page861-870(2013. 10)
164. 吉田 忠雄, 加藤 正大, 大竹 宏直, 加藤 健, 寺西 正明, 片山 直美, 中島 務: 一側性メニエール病における MRI による両側内リンパ腔サイズの評価. *Equilibrium Research*(0385-5716)72 巻 4 号 Page247-253(2013. 08)
165. Nakashima T, Naganawa S: Imaging of endolymphatic hydrops. Francesco, M. D. PhD. Dispenza (eds.). *Textbook of vertigo: Diagnosis and Management.* Jaypee Brothers Medical Publishers, pp. 94-107, 2013
166. Nakashima T, Mukaida T, Yoshida T, Teranishi m, Sone M, Naganawa S: Evaluation of endolymphatic hydrops on magnetic resonance imaging in patients with otosclerosis. Haruo Takahashi (eds.). *Cholesteatoma and Ear Surgery.* Kugler Publications. pp.25-28, 2013
167. ○Usami S, Nishio S, Nagano M, Abe S, Yamaguchi The Deafness Gene Study Consortium: Simultaneous screening of Multiple Mutations by Invader assay Improves Molecular Diagnosis of Hereditary Hearing Loss: A Multicenter Study. February 2012 (7). Issue 2. e31276. 2012
168. Usami S, Moteki H, Suzuki N, Fukuoka H, Miyagawa M, Nishio S, Takumi Y, Iwasaki S, Jolly C.: Achievement of hearing preservation in the presence of an electrode covering the

- residual hearing region. *Acta Oto-Laryngol* 131: 405-412. 2011
169. Kainuma K, Kitoh R, Kenji S, Usami S: Inverted papilloma of the middle ear: a case report and review of the literature. *Acta Oto-Laryngol* 131: 216-220. 2011
170. Moteki H, Yasuo M, Hamano H, Uehara T, Usami S: IgG4-related chronic rhinosinusitis: a new clinical entity of nasal disease. *Acta Oto-Laryngol* 131: 518-526. 2011
171. Furutate S, Iwasaki S, Nishio S, Moteki H, Usami S: Clinical profile of hearing loss in children with congenital cytomegalovirus (CMV) infection: CMV DNA diagnosis using preserved umbilical cord. *Acta Oto-Laryngol* 131:976-982. 2011
172. Nakanishi H, Ohtsubo M, Iwasaki S, Hotta Y, Usami S, Mizuta K, Mineta H, Minoshima S.: Novel *USH2A* mutations in Japanese Usher syndrome type 2 patients: marked differences in the mutation spectrum between the Japanese and other populations. *J Hum Genet.* 56: 484-490. 2011
173. Moteki H, Naito Y, Fujiwara K, Kitoh R, Nishio S Y, Oguchi K, Takumi Y, Usami SI: Different cortical metabolic activation by visual stimuli possibly due to different time courses of hearing loss in patients with *GJB2* and *SLC26A4* mutations. *Acta Otolaryngol.* 131: 1232-1236. 2011
174. Kainuma K, Kitoh R, Yoshimura H, Usami SI.: The first report of bilateral retropharyngeal lymph node metastasis from papillary thyroid carcinoma and review of the literature. *Acta Otolaryngol.* 2011 in press
175. Mutai H, Kouike H, Teruya E, Takahashi-Kodomoari I, Kakishima H, Taiji H, Usami SI, Okuyama T, Matsunaga T.: Systematic analysis of mitochondrial genes associated with hearing loss in the Japanese population: dHPLC reveals a new candidate mutation. *BMC Med Genet.* 12: 135. 2011
176. 宇佐美真一：難聴の遺伝子診断 *日本臨牀* 69: 357-367. 2011
177. 宇佐美真一：難聴の遺伝子診断 *Audiology Japan* 54: 44-55. 2011
178. Matsuba H, Katada C, Masaki T, Nakayama M, Okamoto T, Hanaoka N, Tanabe S, Koizumi, Okamoto M, Muto M: Diagnosis of the Extent of Advanced Oropharyngeal and Hypopharyngeal Cancers by Narrow Band Imaging With Magnifying. *The Laryngoscope.* 753-758. 2011.
179. Seino Y, Nakayama M, Okamoto M, Hayashi S: Computer-based analysis with three-dimensional imaging constructed from fine-slice computed tomography scan of supracricoid laryngectomy with cricothyroidopiglottopexy: report of two cases. *Laryngology&Otology*125. 523-527. 2011.5
180. Nakayama M, Okamoto M. Iwabuchi K, Mikami T, Seino Y: Clinical significance of intraoperative surgical margin study in supracricoid laryngectomy. *AURIS NASUS LARYNX* 38. 261-265. 2011.
181. Nakayama M, Sato Y, Iwabuchi K, Mikami T, Okamoto M, Seino Y, Okamoto T, Shunsuke, M. Laminin-5 immunohistochemical mapping for analysis of local extension in hypopharyngeal cancer: A preliminary report. *Auris Nasus Larynx*, e-publication, 2011.
182. Nakayama M, Hirose H, Miyamoto S, Yokobori S, Takeda M, Seino Y, Okamoto M: 'Flaccid neoglottis' following supracricoid partial laryngectomy: laryngoscopic revision assisted by navigation system. *J Laryngol Otol*, e-publication, 2011.
183. Miyamoto S, Sperry S, Yamashita T, Reddy NP, O'Malley BW, Jr., Li D. Molecular imaging assisted surgery improves survival in a murine head and neck cancer model. *Int J Cancer.* 2011. Accepted
184. Reddy NP, Miyamoto S, Araki K, Liu T, Feldman M, O'Malley BW, Jr., Li D. A novel orthotopic mouse model of head and neck cancer with molecular imaging. *Laryngoscope.* 2011;121(6):1202-7.
185. Yamaguchi T, Sano H, Suzuki T, Makino H, Ohashi K, Okamoto M: Middle ear metastasis of thymoma.

Auris Nasus Larynx. 2011. [Epub ahead of print]

186. 佐野 肇、渡辺裕之、小野雄一、猪 健志、大橋健太郎、岡本牧人：北里大学における過去 16 年間の突発性難聴への治療方法とその効果. *Audiology Japan*. 54(2) 169-175. 2011.
187. 松平登志正、原 由紀、鈴木恵子、上前 牧、大沼幸恵、井上理絵、大橋健太郎、渡辺裕之、佐野肇、岡本牧人：補聴による会話レベルの語音明瞭度の改善. *Audiology Japan* 54(2) 162-168. 2011.
188. Iwasaki S, Sano H, Nishio S, Takumi Y, Okamoto M, Usami S, Ogawa K :Hearing Handicap in Adults With Unilateral Deafness and Bilateral Hearing Loss. *Otology&Neurotology*. 34(4)644-649. 2013. 6
189. Sano H, Okamoto M, Ohhashi K, Ino T, Iwasaki S, Ogawa K, : Self-reported Symptoms in Patients with Idiopathic Sudden Sensorineural Hearing Loss. *Otology & Neurotology* , 34:1405-1410, 2013
190. 岡本牧人、佐野 肇、天川久子、大谷真美、野崎祐子、山城留美子、坂井かおる、笹岡政子、中山明仁：大学病院における医療秘書の有用性に関する研究－電子カルテ化における対応－. *北里医学*. 43 (1) 51-59. 2013. 6.
191. 鈴木恵子、岡本牧人、鈴木牧彦、佐野 肇、原 由紀、井上理絵、大沼幸恵：難聴者におけるコミュニケーションストラテジー－『きこえについての質問紙 2002』の回答に表れた傾向－. *Audiology Japan*. 56(3)226-233. 2013. 5
192. Kobayashi T, Gyo K, Okada M, Tomidokoro Y: Acute Bilateral Sensorineural Hearing Loss Following Mycoplasmal Pneumonia. *Int. Adv. Otol.* 8(1):148-153, 2012
193. Takahashi H, Hinohira Y, Hato N, Wakisaka H, Hyodo J, Ugumori T, Gyo K. : Clinical features and outcomes of four patients with invasive fungal sinusitis, *Auris Nasis Larynx* 38(2) :289-94, 2011
194. Okada M, Kawaguchi A, Hakuba N, Takeda S, Hyodo J, Hato N, Gyo K: Liposome-encapsulated hemoglobin alleviates hearing loss after transient cochlear ischemia and reperfusion in the gerbil, *Artif Organs* 10.1525-34, 2011
195. Omotehara Y, Hakuba N, Okada M, Takeda S, Hato N, Gyo K: Protection Against Ischemic Cochlear Damage by Intratympanic Administration of AM-111, *Otol Neurotol* 32(9):1422-7, 2011
196. Hato N, Nota N, Komobuchi H, Teraoka M, Yamda H, Gyo K, Yanagihar N, Tabata Y: Facial nerve decompression surgery using bFGF-impregnated biodegradable gelatin hydrogel in patients with Bell's palsy, *Otolaryngol Head Neck*, 2011 in press
197. Hato N, Nota N, Komobuchi H, Yamda H, Gyo K: Facial Nerve Decompression Surgery in Patients with Temporal Bone Trauma: Analysis of Our 66 Cases, *J Trauma*, 2011 in press
198. 岡田昌浩、中村光士郎、暁 清文：突発性難聴の臨床的検討－予後因子について－, *愛媛医学* 30(1) :16-21, 2011
199. 小森正博、柳原尚明、比野平恭之、羽藤直人、暁 清文：E-方式人工中耳の長期使用状況について, *愛媛ヒアリング研究* 16、12-14、2011
200. 飴矢美里、田口亜紀、池田健二、勢井洋史、三瀬和代、暁 清文：当科で施行しているラリグマイクローサージェリー前後の音声治療, *耳鼻と臨床* 57(5) :227-33, 2011
201. 向川卓志、白馬伸洋、暁 清文：鼓室内に局限した側頭骨線維性骨異形成症の1例, *頭頸部外科* 21(2) :131-4, 2011
202. 篠森裕介、暁 清文：第 7 章 中耳奇形, 症例から見る難治性疾患の診断と治療. 1. 耳科領域、監修：加我君孝、国際医学出版、2011
203. Okada, M., Kawaguchi, A. T., Hakuba, N., Takeda, S., Hyodo, J., Imai, K., Hato, N., Gyo, K. : Liposome-encapsulated hemoglobin alleviates hearing loss after transient cochlear ischemia

and reperfusion in the gerbil., *Artificial Organs* 36 (2) ,178-184, 2012

204. Kobayashi T, Gyo K, Okada M, Tomidokoro Y. Acute bilateral sensorineural hearing loss following mycoplasmal pneumonia. *Int. Adv. Otol* .8(1):148-153, 2012
205. Takagi D, Hato N, Okada M, Hakuba N, Gyo K, Shigemoto K, Toda T, Ogasawara M, Kameda K: Galectin-7 as a marker of cholesteatoma residue and its detection during surgery by immunofluorescent method - A preliminary study, *Otol Neurotol* 33(3):396-9, 2012.
206. Komori M, Yanagihara N, Hinohira Y, Hato N, Gyo K.: Re-implantation of the Rion E-type semi-implantable hearing aid: Status of long-term use and hearing outcomes in eight patients, *Auris Nasus Larynx*. 39(6):572-6. 2012
207. Sawai N, Hato N, Hakuba N, Takahashi H, Okada M, Gyo K: Objective assessment of the severity of unilateral facial palsy using OKAO Vision facial image analysis software, *Acta Oto-Laryngol* 132:1013-7, 2012.
208. Hato N, Nota J, Komobushi H, Teraoka M, Yamada H, Gyo K, Yanagihara Y, Tabata Y: Facial nerve decompression surgery using bFGF-impregnated biodegradable gelatin hydrogel in patients with Bell palsy, *Otolaryngol Head Neck Surg* 146(4):641-6, 2012
209. Nishida, N., Taguchi, A., Motoyoshi, K., Hyodo, M., Gyo, K., Desaki, J.: Age-related changes in rat intrinsic laryngeal muscles: analysis of muscle fibers, muscle fiber proteins, and subneural apparatuses. *European Archives of Oto-Rhino-Laryngology* , 1-10, 2012.
210. 晁 清文: 急性音響性感音難聴. *JOHNS* 28(5):787-9, 2012
211. 白馬伸洋、岡田昌弘、晁 清文: 急性感音難聴における新規治療の可能性—人工酸素運搬体. *JOHNS* 28 : 807-10, 2012
212. 能田淳平、白馬伸洋、高橋宏尚、羽藤直人、晁 清文: 嗅覚障害モデルマウスに対するdrug delivery systemを用いたbFGF局所投与の効果. *頭頸部自律神経* 26: 54-6, 2012
213. 岡田昌弘、川口 章、白馬伸洋、羽藤直人、晁 清文: 内耳虚血、再灌流障害に対する人工酸素運搬体の有用性4. *頭頸部自律神経* 26: 84-8, 2012
214. 晁 清文: 突発性難聴の内耳低温療法. *耳鼻咽喉科・頭頸部外科* 84(7):425-32, 2012.
215. 竹田将一郎、羽藤直人、岡田昌浩、晁 清文: 中耳内に局限した髄膜腫の一例. *Otol Jpn* 22(3) :238-43, 2012
216. 能田淳平、高橋宏尚、岡田昌浩、羽藤直人、晁 清文: 腫瘍性病変が疑われた特発性眼窩内血腫の一例. *日鼻誌* 51(2):115~8, 2012
217. Terashita T, Saito S, Nabeka H, Hato N, Wakisaka H, Shimokawa T, Kobayashi N, Gyo K, Matsuda S : Prosaposin-derived peptide alleviates ischaemia-induced hearing loss. *Acta Otolaryngol* 133(5):462-468, 2013
218. Nota J, Takahashi H, Hakuba N, Hato N, Gyo K : Treatment of neural anosmia by topical application of basic fibroblast growth factor-gelatin hydrogel in the nasal cavity: an experimental study in mice. *JAMA Otolaryngol Head Neck Surg* 139(4):396-400, 2013
219. Hakuba N, Hato N, Omotehara Y, Okada M, Gyo K : Epithelial pearl formation following tympanic membrane regeneration therapy using an atelocollagen/silicone membrane and basic fibroblast growth factor: Our experience from a retrospective study of one hundred sixteen patients. *Clin Otolaryngol* 38(5) :394-397, 2013
220. Okada M, Kawaguchi AT, Hakuba N, Hyodo J, Hato N, Gyo K : Liposome-encapsulated hemoglobin

alleviates hearing loss after transient cochlear ischemia: an experimental study in the gerbil. *Neurosci Lett* 553(11):176-180, 2013

221. Gyo K: Experimental study of transient cochlear ischemia as a cause of sudden deafness. *World J Otorhinolaryngol* 28;3(1):1-15, 2013
222. Fujiwara T, Hato N, Gyo K, Yanagihara N: Prognostic factors of Bell's palsy: prospective patient collected observational study. *Eur Arch Otorhinolaryngol* in press
223. Hakuba N, Fujiwara T, Hato N, Gyo K: Gelatin hydrogel with basic fibroblast growth factor for tympanic membrane regeneration. *Otol Neurotol* in press
224. Ugumori T, Hyodo J, Hato N, Gyo K: Survival in primary carcinoma of the external and middle ear is strongly dependent on stage at diagnosis. *IJOHNS* in press
225. Okada M, Gyo K, Takagi T, Fujiwara T, Takahashi H, Hakuba N, Hato N: Air-bone gap in ears with a well-repaired tympanic membrane after Type III and Type IV tympanoplasty. *Auris Nasus Larynx* in press
226. Hato N, Kono H, Yamada H, Takahashi H, Gyo K: Role of Nitric Oxid in the Inset of Facial Nerve Palsy by HSV-1 Infection. *JAMA Otolaryngol Head Neck Surg* in press
227. Nakamaru Y, Takagi D, Oridate N, Homma A, Fukuda S: Otolaryngologic Manifestations of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis. *Otolaryngol Head Neck Surg* (in press) , 2011
228. Furusawa J, Zhang H, Vural E, Stone A, Fukuda S, Oridate N, Fang H, Ye Y, Suen JY, Fan CY: Distinct epigenetic profiling in head and neck squamous cell carcinoma stem cells. *Otolaryngol Head Neck Surg* 144: 900-909, 2011
229. Homma A, Inamura N, Oridate N, Suzuki S, Hatakeyama H, Mizumachi T, Kano S, Sakashita T, Onimaru R, Yasuda K, Shirato H, Fukuda S: Concomitant weekly Cisplatin and radiotherapy for head and neck cancer. *Jpn J Clin Oncol* 41: 980-986, 2011
230. Kano S, Homma A, Oridate N, Suzuki F, Hatakeyama H, Mizumachi T, Furusawa J, Sakashita T, Yoshida D, Onimaru R, Shirato H, Fukuda S: Superselective arterial cisplatin infusion with concomitant radiation therapy for base of tongue cancer. *Oral Oncol* 47: 665-670, 2011
231. Onimaru R, Hasegawa M, Yasuda K, Homma A, Oridate N, Fukuda S, Shirato H: Radiotherapy for Glottic T1N0 Carcinoma with Slight Hypofractionation and Standard Overall Treatment Time: Importance of Overall Treatment Time. *Jpn J Clin Oncol* 41: 103-109, 2011
232. Shiga K, Ogawa T, Kobayashi T, Ueda S, Kondo A, Nanba A, Kuwashima S, Asada Y, Suzuki S, Nagahashi T, Takahashi M, Suzuki M, Ishida A, Watanabe K, Harabuchi Y, Himi T, Shinkawa H, Sato H, Saijyo S, Fukuda S, Tanaka K, Ishikawa K, Omori K, Aoyagi M, Hashimoto S: Malignant melanoma of the head and neck : A multi-institutional retrospective analysis of cases in Northern Japan. *Head Neck* (in press), 2011
233. 古田 康, 福田 諭: 特集:耳鼻咽喉科感染症の完全マスター「6」ムンプスウイルス」. *耳喉頭頸* 83: 181-184, 2011
234. 藤原圭志, 古田 康, 福田 諭: 特集:耳鼻咽喉科感染症の完全マスター「4」麻疹ウイルス」. *耳喉頭頸* 83: 169-174, 2011
235. 福島邦博, 假谷 伸, 長安吏江, 福田 諭, 小林俊光, 喜多村健, 熊川孝三, 宇佐美真一, 岩崎 聡, 土井勝美, 暁 清文, 東野哲也, 西 和則: 先天性外耳道閉鎖症例における埋め込み型骨導補聴器 (Bone-Anchored Hearing Aid: BAHA) の有効性に関する検討. *日耳鼻* 114: 761-767, 2011
236. 武市紀人, 小原修幸, 藤原圭志, 津布久崇, 福田 諭: パネルディスカッション 1「突発性難聴に対する鼓室内ステロイド注入療法の臨床効果」. *Otol Jpn* 21: 120-125, 2011
237. 福田 諭, 本間明宏: 特集:頭頸部癌診療の今「化学療法 超選択的動注療法」. *Pharma Medica* 29:

238. 本間明宏, 坂下智博, 福田 諭: 特集: ここまで変わった頸部郭清術 外科的治療以外で頸部リンパ節はどこまで制御できるか「超選択的動注化学療法」. *JOHNS* 27: 229-233, 2011
239. 本間明宏, 折館伸彦, 鈴木章之, 鈴木清護, 原 敏浩, 真栄田裕行, 水町貴諭, 稲村直哉, 福田 諭: 私たちが行っている化学放射線療法後の救済手術における皮膚切開デザインの工夫. *頭頸部外科* 21: 103-106, 2011
240. 本間あや, 高木 大, 鈴木清護, 中丸裕爾, 福田 諭: 眼症状を呈した好酸球性副鼻腔炎の 1 例. *耳喉頭頸* 83: 79-82, 2011
241. 真栄田裕行, 一色信彦, 田辺正博, 松島康二, 溝口兼司, 山本一道, 折館伸彦, 福田 諭, 喜友名朝則, 比嘉麻乃, 鈴木幹男: 声帯麻痺に対する最近の手術的治療 一特に Titanium Plate を使用した音声再建について. *気食* 62: 377-383, 2011
242. 北尾恭子, 本間明宏, 折館伸彦, 鈴木清護, 鈴木章之, 原 敏浩, 加納里志, 水町貴諭, 瀧 重成, 稲村直哉, 福田 諭: 顎下腺悪性腫瘍 1 次症例の検討. *日耳鼻* 114: 126-132, 2011
243. 佐藤木の実, 折館伸彦, 福田 諭: 小児の舌胞巣状軟部肉腫の 1 例. *口咽科* 24: 163-166, 2011
244. 鈴木崇祥, 加納里志, 折館伸彦, 本間明宏, 鈴木清護, 畠山博充, 水町貴諭, 古沢 純, 坂下智博, 福田 諭: 唾液導管癌における HER2 の発現解析. *頭頸部外科* 21: 195-201, 2011
245. 洲崎真吾, 高木 大, 中丸裕爾, 福田 諭: 内視鏡下に摘出しえた鼻腔神経鞘腫例. *耳鼻臨床* 104: 181-185, 2011
246. 水町貴諭, 畠山博充, 加納里志, 坂下智博, 鈴木清護, 本間明宏, 折館伸彦, 福田 諭: パネルディスプレイカッショ ン 2 個別化を目指す薬物療法「HPV 陽性中咽頭癌に対する個別化治療戦略」. *頭頸部癌* 37: 394-397, 2011
247. 鬼丸力也, 安田耕一, 加藤徳男, 白土博樹, 志賀 哲, 岡本祥三, 玉木長良, 本間明宏, 折館伸彦, 福田 諭: シンポジウム 6 放射線療法の進歩と将来展望「放射線治療における Positron emission tomography (PET) 検査の利用」. *頭頸部癌* 37: 376-380, 2011
248. 福田 諭: 第 1 章耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修でのアドバイス<医療現場でのコミュニケーション>「3. チーム医療」. In: 耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修ノート, ed. 総監修: 永井良三, pp. 39-40. (株) 診断と治療社, 東京, 2011
249. 福田 諭: 第 1 章耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修でのアドバイス<医療現場でのコミュニケーション>「4. 他科の医師との関係」. In: 耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修ノート, ed. 総監修: 永井良三, pp. 41-42. (株) 診断と治療社, 東京, 2011
250. 福田 諭: 声を聞く一舌がんと喉頭がん手術後の声のコミュニケーションー. 感覚器(視覚と聴覚)と社会とのつながり一見るよろこび・聞くよろこびー, ed. 財団法人日本学術協力財団, pp. 112-121. (株) キタジマ, 東京, 2011
251. 福田 諭: VI. 耳鼻咽喉の異常「3. 難聴」. 総合臨牀「日常診療でよくみる症状・病態-診断の指針・治療の指針」, pp. 201-205. 永井書店, 大阪, 2011
252. 本間明宏, 福田 諭: 【口腔】口臭. 支持・緩和薬物療法マスターがん治療の副作用対策, pp. 18-19. (株) メディカルレビュー社, 東京, 2011
253. 本間明宏, 福田 諭: 【口腔】口腔腫瘍. 支持・緩和薬物療法マスターがん治療の副作用対策, pp. 20-21. (株) メディカルレビュー社, 東京, 2011
254. 本間明宏, 福田 諭: 【神経】味覚障害. 支持・緩和薬物療法マスターがん治療の副作用対策, pp. 83-86. (株) メディカルレビュー社, 東京, 2011
255. 本間明宏, 福田 諭: 【神経】聴覚障害. 支持・緩和薬物療法マスターがん治療の副作用対策, pp. 87-89. (株) メディカルレビュー社, 東京, 2011
256. Furuta Y, Oridate N, Takeichi N, Fukuda S, Sawa H: Alpha-Defensin Overexpression in Patients

With Bell's Palsy and Ramsay Hunt Syndrome. *Annals of Otolaryngology, Rhinology & Laryngology* 121: 419-425, 2012

257. Homma A, Suzuki F, Hatakeyama H, Sakashita T, Yoshida D, Tsuchiya K, Onimaru R, Oridate N, Shirato H, Fukuda S: Rapid superselective high-dose cisplatin infusion with concomitant radiotherapy for squamous cell carcinoma of the nasal vestibule: a report of two cases. *Int Canc Conf J* 1: 215-219, 2012
258. Mizumachi T, Kano S, Sakashita T, Hatakeyama H, Suzuki S, Homma A, Oridate N, Fukuda S: Improved survival of Japanese patients with human papillomavirus-positive oropharyngeal squamous cell carcinoma. *Int J Clin Oncol* [Epub ahead of print], 2012
259. Moteki H, Nishio SY, Hashimoto S, Takumi Y, Iwasaki S, Takeichi N, Fukuda S, Usami SI: TECTA mutations in Japanese with mid-frequency hearing loss affected by zona pellucida domain protein secretion. *J Hum Genet* [Epub ahead of print], 2012
260. Nakamaru Y, Takagi D, Oridate N, Homma A, Fukuda S: Otolaryngologic Manifestations of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis. *Otolaryngol Head Neck Surg* 146: 119-121, 2012
261. Sakashita T, Homma A, Oridate N, Hatakeyama H, Kano S, Mizumachi T, Fukuda S: Evaluation of nodal response after intra-arterial chemoradiation for node-positive head and neck cancer. *Eur Arch Otorhinolaryngol* 269: 1671-1676, 2012
262. Sakashita T, Homma A, Oridate N, Suzuki S, Hatakeyama H, Kano S, Mizumachi T, Onimaru R, Tsuchiya K, Yasuda K, Shirato H, Fukuda S: Regional control after concomitant chemoradiotherapy without planned neck dissection in node-positive head and neck squamous cell carcinomas. *Auris Nasus Larynx* [Epub ahead of print], 2012
263. Sakashita T, Homma A, Oridate N, Suzuki S, Hatakeyama H, Kano S, Mizumachi T, Yoshida D, Fujima N, Fukuda S: Platinum concentration in sentinel lymph nodes after preoperative intra-arterial cisplatin chemotherapy targeting primary tongue cancer. *Acta Otolaryngol* 132: 1121-1125, 2012
264. Shiga K, Ogawa T, Kobayashi T, Ueda S, Kondo A, Nanba A, Kuwashima S, Asada Y, Suzuki S, Nagahashi T, Takahashi M, Suzuki M, Ishida A, Watanabe K, Harabuchi Y, Himi T, Shinkawa H, Sato H, Saijyo S, Fukuda S, Tanaka K, Ishikawa K, Omori K, Aoyagi M, Hashimoto S: Malignant melanoma of the head and neck : A multi-institutional retrospective analysis of cases in Northern Japan. *Head Neck* [Epub ahead of print], 2012
265. Taki S, Homma A, Suzuki F, Oridate N, Hatakeyama H, Mizumachi T, Kano S, Furusawa J, Sakashita T, Inamura N, Yoshida D, Onimaru R, Shirato H, Fukuda S: Combined modality therapy for laryngeal cancer with superselective intra-arterial cisplatin infusion and concomitant radiotherapy. *Int J Clin Oncol* [Epub ahead of print], 2012
266. Uchida T, Fukuda S, Kamiya H: Heterosynaptic Enhancement of the Excitability of Hippocampal Mossy Fibers by Long-Range Spill-Over of Glutamate. *HIPPOCAMPUS* 22: 222-229, 2012
267. Yanagi H, Wang L, Nishihara H, Kimura T, Tanino M, Yanagi T, Fukuda S, Tanaka S: CRKL plays a pivotal role in tumorigenesis of head and neck squamous cell carcinoma through the regulation of cell adhesion. *Biochem Biophys Res Commun* 418: 104-109, 2012
268. 福田 諭, 畠山博充: 頭頸部癌研究に関する最近の流れ-分子標的治療とHPV感染について-. *耳鼻臨床* 105: 183-191, 2012